

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：新産業集積エリア整備事業]

[目標値：製造品出荷額等4, 200億円]

○新産業の集積を図るため新たな工業団地の開発を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	事業地内の大半が農地であるが、その農地取得に伴う地権者との調整が完了した。
	自己評価	用地取得に伴う地権者との調整が完了したことで、今後の用地取得と工事着手等の時期の見込みが立ったことは一定の成果である。
	下半期への対応	年内早い時期に地権者全員から事業同意の取得を目指し、都市計画などの法的手続きに着手する。また、早期の用地取得と工事着手の準備を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

早期の用地取得と来年度工事着手に向けて取り組むこと。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課課長 佐藤道夫

事業の概要〔事業名：鳥栖市商業活性化推進協議会 賑わい創出支援事業〕

〔目標値：中心商店街の空き店舗率5%〕

○商店街の活性化と賑わいづくりを行うため、商業者自身が主体的に取り組む活動に係る経費に対する補助など、商店街の実情に応じた支援を行うことで、魅力ある商店街づくりを進めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	幹事会や視察・研修等を通じ、まちの賑わいや中心商店街の活性化策について議論した。また、女性の意見を取り入れるため、女性部会を立ち上げた。
	自己評価	中心市街地の活性化や課題解決に向けた研究、議論が進んでいる。
	下半期への対応	上半期に立ち上げた女性部会による女性の視点での議論を行うとともに先進地視察や通行量調査などを行ない、中心市街地の活性化策等について議論を深めていく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期  
今後も継続して取り組むこと。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：新鳥栖駅観光情報発信施設運営事業 イベント等でのPR、アウエーおもてなし] [目標値：集客数 1,200,000人]

○鳥栖市を訪れる人が心地よく滞在を楽しみ、リピーターとして再び訪れてもらえるよう、心のこもった、温かい観光客の受入体制づくりを行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	新鳥栖駅案内所、サガン鳥栖ホームゲーム、まつり鳥栖や九州まん祭などのイベント等にておもてなしや観光・物産等の情報発信などを行った。 アウトレットなどの多くの来訪者の市内回遊策について、関係機関と協議を行った。
	自己評価	丁寧なおもてなし、適切な観光や物産等の情報発信が図られた。 市内回遊策となる新たな企画についての協議が順調に進んだ。
	下半期への対応	日頃からのおもてなしや情報発信を継続するとともに、新たな企画を実践する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

おもてなしや情報発信の取り組みについて継続して行うこと。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

重点事業の概要 [事業名：試験研究機関や大学等の連携推進事業]

[目標値：利用件数 200件]

○高度で専門的知識や技術を有する九州シンクロトン光研究センター、産業技術総合研究所九州センターなどの研究機関や近隣の大学等と連携することにより、市内企業の育成・新産業の創出を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	産業技術総合研究所との共催によるサイエンスカフェの開催や産総研と九州シンクロトン光研究センター主催の「一般公開」について周知を図った。また、総務省の「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」の採択を受け、佐賀大学や久留米大学、NPO等と共同事業を行うこととした。
	自己評価	サイエンスカフェは毎回好評で定着してきた。 また、ふるさとテレワーク実証事業においては、地元大学との連携推進が図れることになった。
	下半期への対応	今後も、サイエンスカフェやふるさとテレワーク実証事業等を通じて試験研究機関や大学等との連携に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

関係機関と連携して取り組むこと。

下半期

## 商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤道夫

重点事業の概要 [事業名：シティーミュージアム構想事業 観光イノベーション、コンベンション] [目標値：集客数 1,200,000 人]

○市内に点在する観光地や名所、旧跡などを結び、モデルコースを作成し、パンフレットやホームページなどで紹介することによって、多くの観光客の回遊に繋がります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	市内誘客・回遊のため、観光地やイベントなどについてホームページやSNS、パンフレットなどによりPR、情報発信に努めた。また、市内回遊を図るための新企画について、関係機関と協議した。
	自己評価	市内回遊に繋がる市内ロードマップ兼観光パンフレットを改良・配布し市内回遊を喚起した。 また、新たな市内回遊策について、関係機関との協議が順調に進んだ。
	下半期への対応	引き続き、各種イベント等の情報発信等を行うとともに、新たな観光ツールの研究や来訪者のおもてなし、情報発信等に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市内外への情報発信に努めること。

下半期